

2021年度 日本学生オリエンテーリング選手権大会 スプリント、ロング・ディスタンス競技部門 要項 2.0

発行日： 2021年7月20日（火）
 発行者： 2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
 スプリント競技部門実行委員会、
 ロング・ディスタンス競技部門実行委員会
 発行責任者： 吉澤 雄大（スプリント競技部門）
 前中 脩人（ロング・ディスタンス競技部門）
 編集責任者： 犬塚 眞太郎（広報責任者）



はじめに

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権実施規則第2.1項に定められた『スプリント競技部門、ロング・ディスタンス競技部門』（以下、**選手権の部**）を実施します。また、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、**一般の部**）を併設開催します。

開催日

2021年 **11** 月 **20** 日（土）～ **21** 日（日）

- ◇ 2021年11月20日（土）スプリント競技部門
- ◇ 2021年11月21日（日）ロング・ディスタンス競技部門

開催地

栃木県矢板市・塩谷郡塩谷町

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会スプリント競技部門実行委員会
 2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会ロング・ディスタンス競技部門実行委員会

	スプリント競技部門	ロング・ディスタンス競技部門
実行委員長	吉澤 雄大（慶應義塾 14）	前中 脩人（東京 13）
競技責任者	平山 遼太（東京 14）	松尾 怜治（東京 14）
運営責任者	石山 良太（名古屋 13）	村井 智也（東京 15）
コース設定者	北見 匠（東北 16）	濱宇津 佑亮（東京 15）
イベント・アドバイザー	石澤 俊崇（早稲田 93）	原田 龍馬（東北 12）

※（）内は出身大学と入学年度

主管者の連絡先（お問い合わせ先）

主管者の連絡先（お問い合わせはこちらをお願いします）

実行委員会へのお問い合わせ（スプリント、ロング・ディスタンス競技部門共通）



e-mail: icsl2021_info@googlegroups.com

大会公式 Web サイト



URL: <http://www.orienteering.com/~icsl2021/index.html>

略称

本要項では、以下の略称を使用することがあります。

略称	正式名称
実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟

新型コロナウイルス感染症への対応指針

実行委員会では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について、下記の指針で対応していく予定です。

◆開催判断

実行委員会における 本大会の開催判断は、大会の2ヶ月前、9月18日（土）に行います。ただし、開催決定後も状況次第では中止とする場合があります。



1 競技情報

競技形式／地図仕様

	競技形式／競技区分	地図仕様				
		縮尺	等高線 間隔	走行 可能度	地図表記	
11月20日 (土)	スプリント競技部門 (選手権の部、一般の部共通)	1:4000	2.5m	4段階表示	ISSprOM2019 準拠	
11月21日 (日)	ロング・ ディスタンス 競技部門	選手権の部	1:15000	5m	4段階表示	ISOM2017-2 準拠
		一般の部	1:10000	5m	4段階表示	ISOM2017-2 準拠

パンチングシステム

スプリント競技部門では、SPORTident 社製の電子パンチングシステム (SI) を使用します。選手権の部では参加者全員が運営で貸し出す SIAC (タッチフリー) を使用します。

ロング・ディスタンス競技部門では、Emit 社製の電子パンチングシステム (Electronic Punching and Timing system: Eカード) を使用します。Eカードは貸し出しを行います。個人所有のEカードを使用することもできます。

トレイン概要

スプリント競技部門

トレインは標高約 250m の丘陵地帯に位置する矢板運動公園及びその周辺である。公園内には多数のスポーツ施設が存在し、その一部をコースに使用する予定である。これらの施設を取り囲む柵や、丘陵地形に由来する斜面や擁壁が通行の障壁となる。公園全体の構造は比較的単純であるが、一部の施設は複雑な構造を有するため注意が必要である。地表の大部分は舗装区域または開けた土地であり、走行可能度は高い。ただし、一時的に周囲の森林を走行する可能性もある。

ロング・ディスタンス競技部門

トレインは関東平野の端、高原山の麓に位置している。これより高原山側に耕作地はほぼなく、農業から林業へ人々の営みがるさまを感じることができる。こういった土地利用の背景でもあるトレイン内の地形は、北が比較的大きくまとまった山塊で、南に行くにつれて沢の侵食を受けた入り組んだ尾根も見られる。一方、植生は走行可能度が高い箇所も多いが、林業によって大きく変化している箇所が散見される。特に造成道が増加している箇所には注意が必要である。

立入禁止区域・クローズトレイン

本大会への参加を予定している者 (チームオフィシャル¹、併設大会参加者²含む) および観戦を予定している者は、本大会終了までの期間、次ページ以降に示す立入禁止区域にて、各種目における禁止事項を行わないように遵守ください (但し、競技参加時を除く)。立入禁止区域の詳細は地図をご覧ください。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

¹ P.10 を参照のこと。

² P.12 を参照のこと。

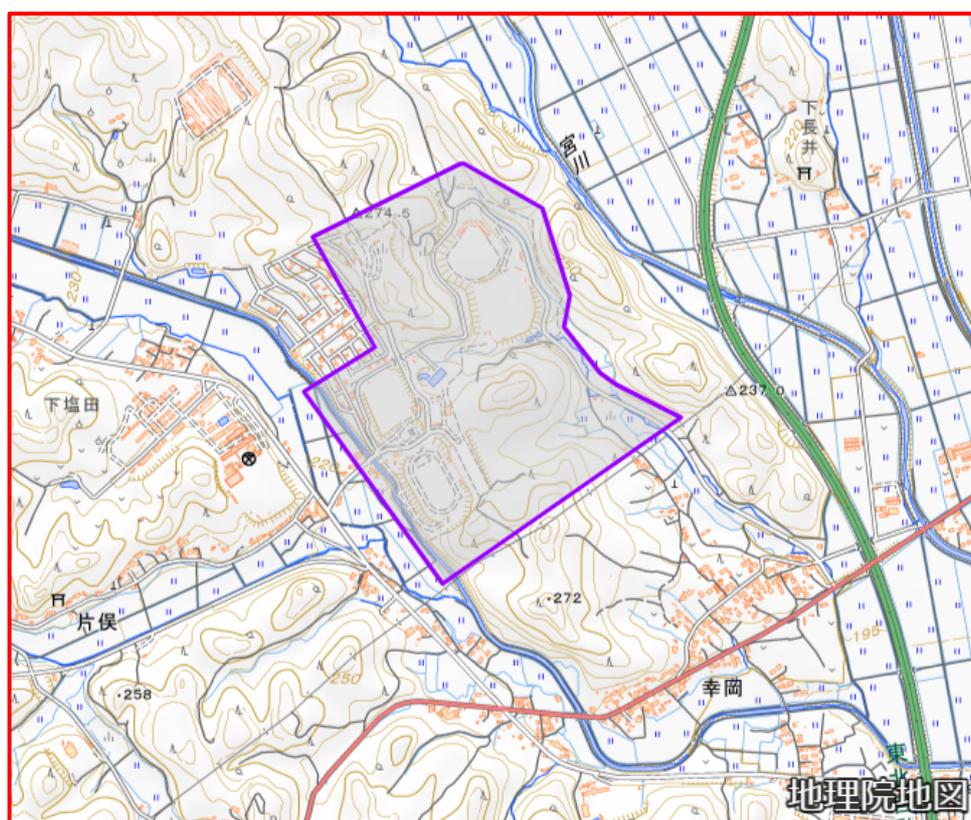
立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

クローズトレイン

- 「矢板塩田」 2016 年 日本学生オリエンテーリング連盟作成
- 「前高原 2016」 2016 年 日本学生オリエンテーリング連盟作成
- 「番匠峰古墳Ⅱ」 2006 年 日本学生オリエンテーリング連盟作成
- 「矢板片俣」 2017 年 日本学生オリエンテーリング連盟作成
- 「矢板運動公園」 2006 年 日本学生オリエンテーリング連盟作成

◆スプリント競技部門 栃木県矢板市 矢板運動公園周辺

禁止事項：下記紫枠線内への観光などを含む全ての立入

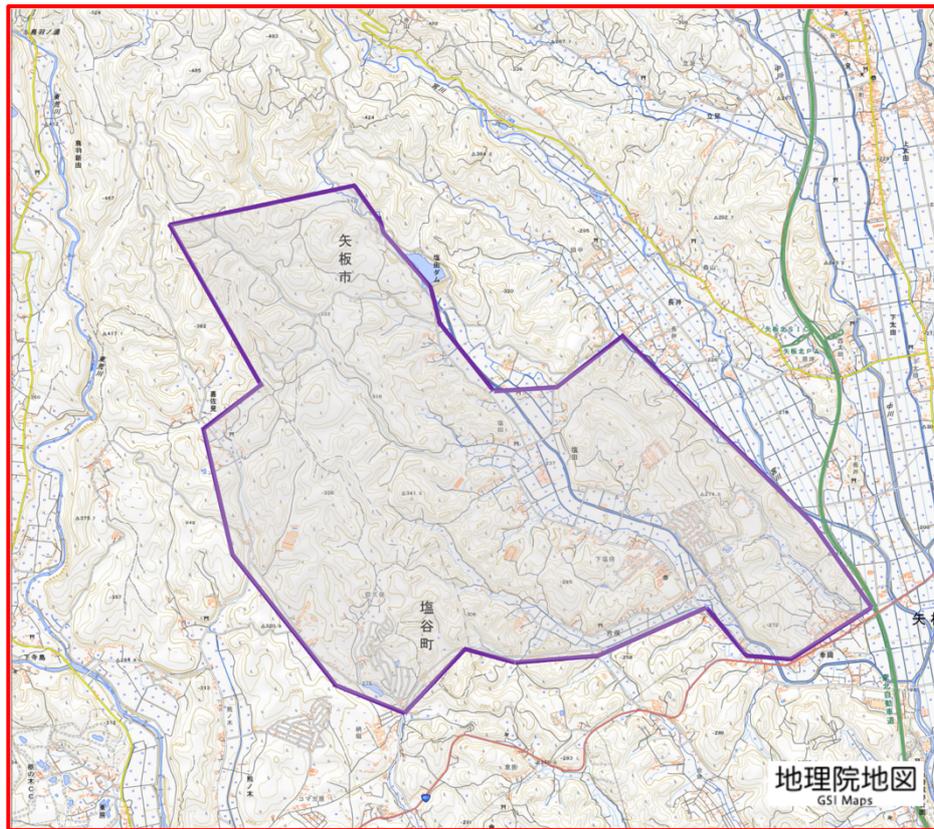


注意事項

- ・スプリント競技において、ピン付きシューズでの出走を禁止します。

◆ロング・ディスタンス競技部門 栃木県矢板市・塩谷郡塩谷町

禁止事項：下記紫枠線内へのオリエンテーリング目的（テレイン視察含む）での立入



モデルイベント

スプリント競技部門、ロング・ディスタンス競技部門ともに実施しません。

トレーニングテレイン

設けません。

アンチ・ドーピング

(1) eラーニング

- ・選手権の部出場者はアンチ・ドーピングの e ラーニングの受講が必須になります。詳細は日本学連からの案内に従ってください。

(2) ドーピング検査

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
- ・ドーピング検査の対象となった本大会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本大会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参してください。

- ・ 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになります。
- ・ 治療使用特例（TUE）について
禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによってTUEが認められれば、例外的に使用することができます。原則としてTUEが必要な大会の30日前までに申請を行ってください。
- ・ 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となります。
- ・ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のWebサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認してください。



2

クラスと参加資格

11月20日（土）スプリント競技

選手権の部

◆スプリント/選手権 クラス情報

クラス	優勝設定時間（予定）
男子選手権（ME）	13～15分
女子選手権（WE）	13～15分

男子選手権、女子選手権の優勝者をスプリント競技選手権者とします。

◆スプリント/選手権 参加資格

以下の2点を共に満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- ・実施規則第4.1項の規定（学連加盟員であること・学連登録年度4年以内・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満）を満たすこと。
- ・地区学連枠、もしくは前年度個人実績枠による出場資格を持っていること。

日本学連技術委員会が2021年7月3日付けで発表した「2021年度インカレスプリント競技者配分について」に基づき、地区学連枠および前年度個人実績枠を下記の通り設けます。

<地区学連枠（男子）>

	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	合計
学連枠	2	2	2	2	2	2	12
前年度実績枠	7	24	3	8	7	0	49
合計	9	26	5	10	9	2	61

<地区学連枠（女子）>

	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	合計
学連枠	1	1	1	1	1	1	6
前年度実績枠	3	13	2	2	5	0	25
合計	4	14	3	3	6	1	31

<前年度個人実績枠>

男子 森清星也（早稲田大学） 本庄祐一（東京大学）

女子 阿部悠（実践女子大学） 水上玲奈（東北大学）

一般の部

◆スプリント/一般 クラス情報

クラス	対象	参加資格	優勝設定時間（予定）
MUA	男子上級者	日本学連登録2年目以上の男子	15分
MUF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	15分
WUA	女子上級者	日本学連登録2年目以上の女子	15分
WUF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	15分

- ・ 申込多数のクラスについては、参加者数に応じて複数のクラスに分割する可能性があります。
- ・ 表彰対象は、最初に日本学連登録をした年度から数えて4年目以内の者に限ります。

◆スプリント/一般 参加資格

選手登録名簿提出時から大会開催時の期間において日本学連加盟員であること。

11月21日（日）ロング・ディスタンス競技

選手権の部

◆ロング/選手権 クラス情報

クラス	優勝設定時間（予定）
男子選手権（ME）	80分
女子選手権（WE）	65分

男子選手権、女子選手権の優勝者をロング・ディスタンス競技選手権者とします。

◆ロング/選手権 参加資格

以下の2点を共に満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- ・実施規則第4.1項の規定（学連加盟員であること・学連登録年度4年以内・年齢は当該年度3月31日現在29歳未満）を満たすこと。
- ・地区学連枠、もしくは前年度個人実績枠による出場資格を持っていること。

日本学連技術委員会が2021年7月3日付けで発表した「2021年度インカレロング競技者配分について」に基づき、地区学連枠および前年度個人実績枠を下記の通り設けます。

<地区学連枠（男子）>

	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	合計
学連枠	2	2	2	2	2	2	12
前年度実績枠	13	22	0	3	10	0	48
合計	15	24	2	5	12	2	60

<地区学連枠（女子）>

	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	合計
学連枠	1	1	1	1	1	1	6
前年度実績枠	2	14	0	6	2	0	24
合計	3	15	1	7	3	1	30

<前年度個人実績枠>

男子 朝間玲羽（東京大学） 平岡丈（京都大学） 二俣真（京都大学）

女子 阿部悠（実践女子大学）

一般の部

◆ロング/一般 クラス情報

クラス	対象	参加資格	優勝設定時間（予定）
MUL	男子上級者	日本学連登録2年目以上の男子	50分
MUS	男子中級者	日本学連登録2年目以上の男子	40分
MUF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	40分
WUL	女子上級者	日本学連登録2年目以上の女子	50分
WUS	女子中級者	日本学連登録2年目以上の女子	40分
WUF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	30分

- ・ 申込多数のクラスについては、参加者数に応じて複数のクラスに分割する可能性があります。
- ・ 表彰対象は、最初に日本学連登録をした年度から数えて4年目以内の者に限ります。

◆ロング/一般 参加資格

- ・ 選手登録名簿提出時から大会開催時の期間において日本学連加盟員であること。

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。チームオフィシャルは、スプリントおよびロング・ディスタンス両競技の選手権の部スタート地区において、選手のサポートができます。

チームオフィシャルはスプリントおよびロング・ディスタンス両競技で共通とします。

各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- ・ 男子クラスの選手権の部への選手登録に対して最大2名まで
- ・ 女子クラスの選手権の部への選手登録に対して最大2名まで
(合計最大4名まで登録可能)

**3**

参加申し込み

申し込みの流れ

申し込み締め切りは、新人も含めて9月24日（金）を予定しています。申し込み方法の詳細については、8月に公開予定の要項2.1で発表します。申し込み用紙は、要項2.1公開と同時に公式Webサイトで公開します。

参加費

参加費については、本大会終了後の納入とし、大会中止の場合は参加費徴収を行わない予定です。

4 宿泊・交通・弁当

宿泊

本大会では、実行委員会で宿泊施設の斡旋は行いません。宿泊を希望する場合は、各大学で宿泊施設の予約をお願いします。

交通

現時点では未定です。決定次第公表します。

弁当

11月20日（土）、21日（日）ともに実行委員会では弁当を手配しません。

5 観戦・併設大会

観戦

本大会参加者以外による現地での観戦の可否について、現在検討中です。詳細は後日発行の要項3をご確認ください。

なお、スプリント及びロングディスタンス競技部門それぞれの選手権の部に参加する選手は、出走前の観戦が制限されます。

併設大会

日本学連加盟員以外の一般の方を対象とした併設大会の開催を検討しています。詳細は後日発行の当該大会の要項をご確認ください。

(要項 2.0 おわり)

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構